

令和6年度 スクールコンサート 富永裕輔 ～明日への翼～

北九州市文化大使でもある、シンガーソングライター 富永裕輔さんをお迎えし、「スクールコンサート～明日への翼～」を実施しました。今年度は、小学校4校、中学校2校（小中合同開催1回）でのコンサートとなりました。

「一人一人が生まれ持った夢の種に光を当て、ありのままの自分を肯定する」ことや、「大好きなことを大切にすることの意味」など、想いのこもったメッセージや歌が、ご自身の体験とともに、届けられました。

★開催校★

10/28 (月)
ひびきの小学校
10/29 (火)
松ヶ江北小学校
10/30 (水)
東谷中学校区
東谷中学校・市丸小学校
新道寺小学校
10/31 (木)
千代中学校

【演奏曲目】※順不同

- 「ひまわりの花」
NHK北九州放送局80周年事業“きたきゅうのうた”大賞受賞曲
- 「光」ソフトバンクホークス 和田毅 投手 登場曲
- 「君がくれたもの」
- 「傷つきやすい君へ」
- 「明日への翼」人権教育教材集「新版 いのち」掲載曲
- 「Message」
- 「ひふみ祝詞」
- 「Sing With You」 等



富永裕輔さん〔中央〕とサポート・ミュージシャンのSho Hamadaさん（ギター）〔向かって右〕、Cozy-Ashさん（クラリネット）〔向かって左〕



歌の中には、聴き手の皆さんが光を感じられるように、という願いがこめられたものや、今ある平和への思いが表現されたものなどがありました。

コンサートの終わりには、アンコールとして「ありがとう」という楽曲を児童生徒の近くで歌ったり、一緒に校歌を歌ったりするなどして、会場とアーティストの方々の気持ちが一つになっていき、まさに「人の想いを歌にして繋ぐ」様子が見られました。

「想いと想いがつながる」コンサートは、小中学生の皆さんの心にも残ったようです。



参加児童生徒の感想文から（抜粋）

音楽の楽しさについて、あらたに知ることができました。音楽をつくる時の思いを知ることができ、うれしかったです。

（ひびきの小 5年生）

富永裕輔さんの歌は、すごく勇気や元気、やる気などたくさんのパワーをもらえました。今日は本当にあえて歌をきけてうれしかったです。

（市丸小 5年生）

富永さんから、「まず自分から夢へ向かって動くことの大切さ」について聞き、私は、自分の夢を大切に生きていこうと思いました。

（新道寺小 5年生）

自分はまだ夢はないけれど、決まったらその夢に向かってがんばろうと思いました。

（市丸小 5年生）

自分は今受験生で進路を決定しないといけない時期だけど、富永さんの歌を聴いて、残り4か月頑張ろうと思いました。

（東谷中 3年生）

歌を聞いた時、みんなが一つになってゆれりと楽しくなって、元気になりました。

（松ヶ江北小 4年生）

僕がとくに印象に残ったのは、「ありがとう」です。僕もこの歌みたいに常に色々な人に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れずに生活したいと思いました。

（千代中 3年生）

私は、歌の中で「ひまわりの花」が一番好きでした。「太陽を見あげ」の歌詞がとても胸にささりました。もしつらくなったら、太陽を見あげてみたいと思います。

私の夢は、みんなのことを笑顔にすることです！また会いましょう！ありがとうございます！

（松ヶ江北小 5年生）

すばらしい三人に出会えてとても幸せです。



（ひびきの小 6年生）

自分だけで、つらい思いを抱えるのではなく、自分だけじゃないと思う気持ちを教えてくれました。

（千代中 1年生）

行事が続く二学期で、少し心に余裕がなくなりつつある中、悩み事、不安な事が重なり、身体的にも精神的にも疲れがたまっていました。だけど今日の富永裕輔さんの思いが詰まった歌詞、響き渡るすてきな歌声を聴いているときは、富永さんの世界に引き込まれたような気がしました。

（東谷中 1年生）

平尾台の歌や、地元の校歌などをつくり、ふるさとをほこりに思っていると感じた。スクールコンサートを通して、地元をほこりをもち大事にするのはよいことだと学んだ。

（新道寺小 6年生）